

Title	共同研究講座15年・協働研究所10年での活動展開 (2) : Hitz 協働研究所の事例および産学連携研究会の活動報告
Author(s)	中澤, 慶久; 鈴木, 伸昭; 田中, 敏嗣
Citation	年次学術大会講演要旨集, 36: 420-421
Issue Date	2021-10-30
Type	Conference Paper
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/17834
Rights	本著作物は研究・イノベーション学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Research Policy and Innovation Management.
Description	一般講演要旨

2 B 2 4

共同研究講座 15 年・協働研究所 10 年での活動展開 (2) -Hitz 協働研究所の事例および産学連携研究会の活動報告-

○中澤慶久 (大阪大/徳島大)・鈴木伸昭・田中敏嗣 (大阪大)

1. 大阪大学産学連携の現状

「大阪大学では、2006 年度より「Industry on Campus」の標語の下、人的交流、研究テーマの共有、研究設備の利活用等を通じて企業の研究開発と大学の学術研究を連携させる「共同研究講座」制度を、さらに 2011 年度からは、その発展形である「協働研究所」制度を導入し、本気の産学連携を推進してきた 1)。この間、大阪大学全体では、2021 年 9 月 1 日時点における設置数は、共同研究講座が 82 件 (共同研究部門を含む)、協働研究所が 19 件となっており、順調に発展するとともに、当初の目標であった 100 を超えて、101 件に達している (図 1)。

共同研究講座の設置開始から 15 年、協働研究所の設置開始から 10 年の現時点において、主たる取り組みを実施してきた、大阪大学大学院工学研究科における実績経過を図 2 に示した。

2. Hitz 協働研究所の事例

工学研究科に属する Hitz 協働研究所は、NEDO プロジェクトを起源 (1999 年開始) として、2010 年 1 月に「共同研究講座」制度の運用を開始し、2012 年 10 月からは「協働研究所」として段階的に運用してきた。2020 年 4 月からは 2023 年 3 月まで 3 年間の期間延長を締結している。2021 年 4 月より、親元の日立造船より元研究所長 (北側彰一) を迎え、体制と人事を一新した 1~9)。

3. 産学連携研究会活動

Hitz 協働研究所では、阪大の産学連携制度を活用し開発を進めて来たバイオポリマー (トチュウエラストマー) の取り組みは、大阪大学の産学連携成果品のひとつとなった。

そして、この 10 年間の取り組みそのものが、産学連携における実務の課題を解決してきた足跡となった。この特徴のある共同研究講座、協働研究所の運営は産学連携に貴重なマニュアルと言える。また、大阪大学の産学連携制度は、今後の国内で同様な産学連携活動を行う、企業や大学関係者にとって貴重な資料である。

産学連携を円滑に進めるためには多くの事例を採取して、そのひとつひとつにおける対処方法を記録して残すことの重要性を感じている。そこで、2019 年 8 月に産学連携論研究会 (代表: 岩谷敏昭弁護士 (大阪大学知的基盤総合総合センター特任教授)) を発足し、上記の産学連携に関するノウハウを残し体系化する活動に取り組んでいる。現在

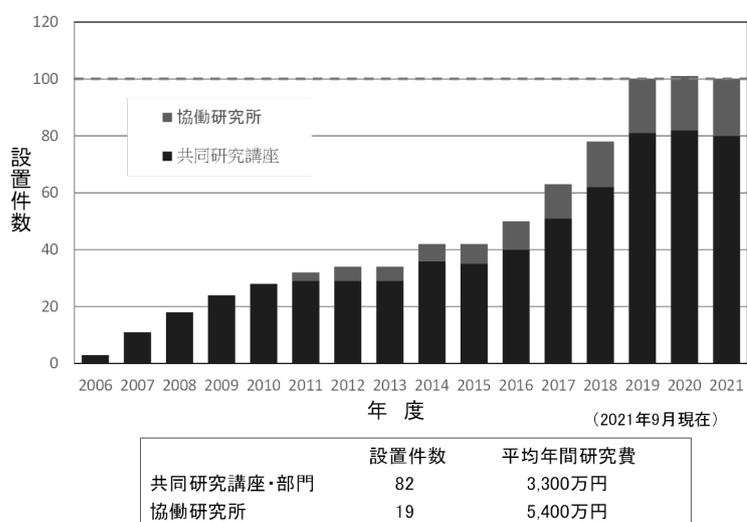


図 1 共同研究講座・協働研究所 (設置件数, 全学)

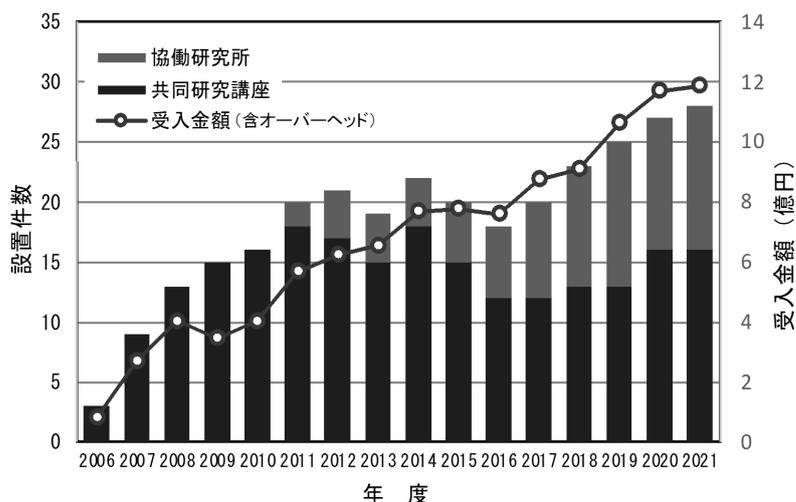


図 2 共同研究講座・協働研究所 (工学研究科での実績)

の活動は弁護士を中心とした 18 名にて構成しており、毎月末の夕刻より Web 接続により、個別事例の案件を精査して産学連携論の教科書作成に取り組んで来た事例について紹介する。

なお、この活動は産学連携論という教科書の作成や更なる調査活動を目指した競争的資金の獲得などの活動にも発展した。

参考文献

- 1) 研究・技術計画学会 2011 年年次要旨集 26pp.53-55
- 2) 研究・技術計画学会 2012 年年次要旨集 27pp.777-779
- 3) 研究・技術計画学会 2014 年年次要旨集 29pp.125-126
- 4) 研究・技術計画学会 2015 年年次要旨集 30pp.129-131
- 5) 研究・イノベーション学会 2016 年年次要旨集 31pp.576-578
- 6) 研究・イノベーション学会 2017 年年次要旨集 32pp.864-865
- 7) 研究・イノベーション学会 2018 年年次要旨集 33pp.762-763
- 8) 研究・イノベーション学会 2019 年年次要旨集 34pp.86-87
- 9) 研究・イノベーション学会 2020 年年次要旨集 35pp.682-683